

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 15 日（水） 19 時 00 分～22 時 00 分
3 開催場所	市民会館 多目的ホール
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、重城財政課長 （司会）笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	215 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻の時間を過ぎましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただ今から、「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会を開催いたします。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的といたしまして小学校単位の11地域で開催するものでございます。</p> <p>ここで皆さんにお願いがございます。</p> <p>説明会の模様を市広報紙・ホームページなどで掲載したいと考えておりますので、写真を撮影させていただきたくご了承くださいようお願い申し上げます。</p> <p>また、本日は、報道機関の方も取材においでですので、ご了承ください。</p> <p>次に、説明の前に、本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>はじめに、市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務部総務課の笹生と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、説明資料がお手元に届いておりますかご確認をお願いします。大丈夫でしょうか？</p> <p>最後になりますが、ご質問につきましては、市長、企画財政部長及び総務部長の説明の後にお受けいたしますので、予めご了承ください申し上げます。</p> <p>それでは、はじめに市長からご説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来でしたらご家庭でお寛ぎの時間であろうかと思いますが、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この度、富津市の財政状況につきまして、新聞あるいはテレビ放送などインターネットの記事等をご覧になった住民の皆さんからいろいろとお問い合わせがあり、ご不安とご心配をおかけいたしましたことにつきまして、改めてご説明申し上げます。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さん方に正確にお知らせしなければならないことは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、現在、赤字になっているわけではございません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もしないで行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんし</p>

てしまう可能性があるということでございます。

富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってきたことと、年々増加いたします社会保障費、また税収の減少などによりまして収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことからでございます。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となります。財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円であります。

何度も申し上げますけれども、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、現在、赤字になっているわけではありません。

しかし、従前の財政収支改善策や単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものであります。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さんから問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設や維持管理費の高い施設などは売却や広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」ですが、今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占める「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

	<p>「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、改めて考える時期に来ていると考えます。民間に任せるべき事務も多くなってきており、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。</p> <p>「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。</p> <p>「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。</p> <p>次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。</p> <p>これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。</p> <p>今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことを考えております。</p> <p>最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立って、職員一丸となって断行して参ります。</p> <p>皆さま方の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、私からの説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>続きまして、補足説明を申し上げます。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>皆さまご苦勞様でございます。</p> <p>ただ今市長から前段的な説明があったところでございますが、財政担当の私からは、このような財政状況に至りました経緯につきまして、もう少し詳しくご説明させていただきたく存じます。</p> <p>失礼して着席させていただきます。</p> <p>富津市におきましては、平成 11 年度になります。当時 5 年間にわたり税収の落ち込みや、起債の償還、こちらは市の借入金こちらの返済になります。このような起債の償還によりまして、財源不足が見込まれたために、財政非常事態宣言を宣言いたしまして、危機的な状況を回避する暫定措置といたしまして、平成 11 年 11 月になります。12 年度から 16 年度までを計画期間といたします。財政健全化計画に基づきまして、財政の健全化に向けまして、計画を実行し、平成 17 年度になります。このなかで収支見込の改善の目処が立ったといった判断を基に、財政非常事態宣言を解除いたしました。</p>

しかしながら、その後も厳しい財政状況を踏まえるなかで、人件費の削減や歳入確保等の財政収支改善策を、恒久的なものとしたしまして、取り組んできたところであります。

しかしながら、15 歳以上 65 歳未満を生産年齢人口と呼びますが、こちらの生産年齢人口が、本市では減少しております。また、景気の好況感は見えるところではありますが、なかなか地方には及んでいないというような長引く景気の低迷によりまして、個人の方々や法人の市民税が減収、減っております。

また、本市におきましての税収の根幹、幹となります固定資産税につきましても大幅な減収となっております。これに加えまして、景気低迷につきまして生活保護者の方々の増加や、また、高齢化の浸透につきまして障がい者の方々や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、生活保護費又は障害者の手当といった扶助費、社会保障費関係ですが、このような扶助費や介護会計への繰出金が毎年増え続けておりまして、年々財政状況は厳しさを増しているところでございます。

このような状況のなかでありまして、これら歳入の減少に対応いたしましたサービス水準の見直し、これは人口の減少に対応すべく市役所の組織のスリム化も大きく立ち遅れまして、職員の定員の管理を中心といたします総人件費の抑制も不十分だったこと、また、このような収支不足のなかで歳入に見合いました、身の丈に合わない過大な市には基本構想やこれに基づきます総合計画があるわけですが、このような様々な計画を行ってきましたが、計画にも過大な面があったかと、そのようななかで今般の状況に至ったというように考えているところでございます。

私の補足の方は、以上で終わらせていただきます。

総務部長

よろしくお願いたします。

私の方からは、今まで行ってきた行財政改革、財政健全化対策をお知らせさせていただきます。座って説明させていただきます。

ただ今企画財政部長の方から話がありました。そのなかで、何もやってこなかったのかというような声も出ようかと思えます。このような説明のなかで、やってきましたと申し上げても、「では、何でこのようなことになるのか」というようなことになろうかと思えますが、今まで行ってきた取り組みについて多少ご紹介させていただきます。

まず、財政健全化対策ですが、こちらにつきましては、平成 5 年度から平成 16 年度まで実施しております。また、行財政改革というのも平成 11 年度から第一次から平成 24 年度の第三次まで行いました。そのなかでも別に並行して財政収支改善策というもの、これは市長、企画財政部長の説明にもありました財政非常事態宣言というものを 11 年度に発しております。これを 17 年度に解除いたしましたが、解除いたしました後も、財政の予算査定のなかで、この財政収支改善策を続けて参りました。

項目別で、主なものを申し上げますと、歳入の確保策といたしましては、使用料・手数料の見直しを行って参りました。詳しく申し上げます

と、火葬場の使用料・塵かき処理手数料これはごみの手数料ですが・給食費等々、平成 12 年 4 月 1 日から給食費、7 月 1 日から塵かき処理手数料及び火葬場の使用料を引き上げさせていただきました。この効果影響額といたしましては、8 億 2,158 万 7 千円という数字が出ております。

また、市民税の法人税割、これは法人・会社の方の関係ですが、超過税率の適用の延長ということで、住民税の 3%、資本金が 5 千万円を超える 1 億円以下の会社が 13.5 に、資本金が 1 億円以上の会社を 14.7 に上げたということでございます。この効果額が 7 億 6,856 万 5 千円でございます。

また、各種基金というものがございますが、これは、目的基金でございますが、基金の設置目的に沿った処分をして、取り崩してそこから活用する、これが 25 億 2,114 万 1 千円、また、未利用地の売却、使っていない土地を売却いたしました。現在もしておりますが、市有未利用地の売却促進ということで 2 億 3,220 万 1 千円等々歳入確保策といたしましては、47 億 7,107 万 9 千円。

人件費に参りますが、項目といたしましては、平成 12 年度以降の最初の昇給 18 月延伸 6 か月ということ、どういうことかと申しますと、例えば 4 月に昇給するものを 6 か月全員延伸させました。この影響額として 3 億 7,913 万円、一般職の昇給抑制、初任給基準の抑制、調整手当の引下げ等々でございます。

また、定員適正化計画の策定をいたしまして、職員の削減を平成 17 年度から図っております。これにつきましては、13 億 6,015 万 4 千円、このような人件費関係で 54 億 8,316 万 6 千円でございます。

また、サービス水準といたしましては、難病患者の見舞金見直しというようなこともさせていただきました。これにつきましては、748 万 6 千円、また、精神障害者医療扶助費の見直しということで、これは所得の制限、市民税所得割の一定額を超える方を対象外とさせていただきました。これは、平成 20 年度からです。入院時の食事療養費に係る扶助費の廃止をさせていただいております。この関係は、5,707 万 1 千円等々で 1 億 2,849 万 5 千円。

物件費、物件費というのは、委託ですとかそういうものですが、主なものを申し上げますと、保育所の統合をいたしました。これは、平成 11 年度ですが、佐貫第二保育所を廃止いたしまして、佐貫保育所に統合いたしました。この影響額として 2 億 2,338 万円、また、公共施設の運営管理これは平成 18 年度から行っていますが、今まで委託等を直営、また直営でやっていたものを指定管理等でございまして 8,816 万 1 千円、一般廃棄物処理手数料徴収委託費の見直し、これはどういうことかと申しますと、手数料は、直接手数料としていただいているものではございませんで、皆さま方ご承知のとおり、ごみの袋を買っていただいてそれが手数料としてあるわけですが、この売りさばきの手数を支払いしております。これが 1 枚 3 円支払っていたものを、1 円値下げさせていただきまして 1 枚 2 円ということで扱わせていただきました。これが 2,187 万 9 千円、後は市営バスの一部廃止とか、公共借地の見直しとか、そういうもの諸々で 4 億 6,785 万 9 千円。

<p>総務課長</p>	<p>また、補助費等の性質のものでございますが、国際交流海外派遣事業の休止、これは 11 年度から 15 年度まで休止させていただきました。これで 2,278 万円、また、補助金等の見直しということで、いろいろな補助金がございます。第一次として平成 12 年度から廃止 46 件、休止 7 件、削減 14 件、統合 1 件、また、第二次といたしまして廃止 2 件、段階廃止 3 件、削減 43 件ということで 5 億 3,934 万円という額でございます。補助金の主なものは、そういうものでございまして、5 億 7,029 万 9 千円。</p> <p>今まで申し上げたトータルとして 117 億 3,503 万 3 千円の影響額ということで私どもは捉えております。</p> <p>簡単な説明で申し訳ございませんが、以上で行財政改革の主なものの説明を終わらせていただきます。</p> <p>以上で説明は終わりました。</p> <p>これからご質問をお受けしたいと思います。ご質問等ありましたら、挙手にてお願いいたします。マイクを順次お持ちいたしますので、マイクが行くまでしばらくお待ちください。順番でお答えしたいと思います。</p> <p>それでは、ご質問をお受けいたします。</p>
<p>(市民①-1)</p>	<p>区長手当について、富津市は、近隣市に比べて高いが、見直しは考えていますか。</p> <p>夕張市と比較して、市長・副市長・議長・副議長・議員の給料は高く、削られているのは市民の方だと思いますが、どのように考えていますか。</p> <p>有識者とは、どんな方ですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>区長報酬は、世帯数等で報酬を支給しております。</p> <p>市民サービスの低下については、財源不足で滞っているということから、ご不便をかけていると認識しております。経費については、全て見直しの対象として、取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>後段の経営改革会議の構成員の有識者につきましては、総務部長の方から答えさせていただきます。</p>
<p>(市民①-2)</p>	<p>区長手当を、減らす・見直すというような気持ちがあるのか教えてください。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議のメンバーは、5 人お願いする予定です。大学の先生が 2 人、公認会計士が 1 人、地元の会社の社長が 1 人、県庁の OB 市内の方ではありませんが、その方が 1 人の 5 名です。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>人件費の削減は、職員の採用について、来年度は、本年度 40 名退職、3 名の採用と、具体化しております。</p> <p>経費の削減については、事業の縮減、休止、廃止のような大幅な見直</p>

<p>総務部長</p>	<p>しのような歳出削減を中心し、実行して参ります。歳入につきましても取るべきものをしっかり徴収していきたいと考えております。</p> <p>今後このような具体的なプランを、有識者の方々から意見を伺い進めながら、皆さま方に具体的に説明していきたいと考えております。</p> <p>会議の有識者に、なぜ市民を入れないかというご意見が言われましたが、この改革のためにしがらみある市民の方では、検討しにくい面もございます。今回は、外部有識者をお願いし、市民の方は入れてございません。ただ正式には会社の社長 1 名が市民です。</p>
<p>(市民②-1)</p>	<p>財政状況が悪化したと声明を出されてから、解除されてから約 10 年経ち、ずっと黒字を通したとおっしゃった結果が、この結果です。</p> <p>これを数字化して、なぜ財政調整基金まで手を入れなければいけなかったのかはつきりさせてください。市民に公益性のあるものを作って、今でも活用されているものですか。一つずつ検証して、公表してください。ぜひそれは守ってください。</p> <p>諮問委員会から出てきた答えは、私たちにとっては大きな差はないのではないか。</p> <p>これを見過ごした議会も重大な責任を感じてもらいたい。議会は、2005 年の財政解除した後の 10 年間で、どういう活動をしてどういうことを行ったのか、弁明書にまとめて公表してもらいたい。</p> <p>皆さま方が、自信を持ってそうではないというお気持ちがあるならば、市民に信を問うてください。全く新しい意思を持った、新しい人間が、市民に受け入れられたら、どうか潔くお渡しいただきたい。</p> <p>ぜひこの 2 つ、現状把握を公表していただきたいということと、市民に信を問うていただきたい。このことについて市長からご見解をお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>今までとは同じような状態では、なかなか打開策としては無理だろうということで、今までとは違った方法、決断を持ってやっていかなければいけないだろうと考えているところであります。</p> <p>ですから、現状の把握を持って経営改革会議で意見を聞くということでございます。その結果をまた皆さん方にお示しをして、断行していきたいと考えております。</p>
<p>(市民②-2)</p>	<p>要は、現状把握して、それがどのような結果になって、今どのように市民に利益をもたらしているかを検証した結果を、公表してくださいと言っているんです。責任を明確にしてもらいたいと思います。</p> <p>そこまでの体制で再建する自信がございましたら、市民に信を問うていただきたい。市民がお任せすると言ったら、堂々とおやりいただきたい。そうでなければ、違う DNA を持った方に譲っていただきたい。この 2 つのお考えがあるかどうかをお聞きします。</p>
<p>市長</p>	<p>1999 年以前の問題があり、何代も続いたなかで社会的な要因もあり、</p>

	<p>現在に至っているわけでありませすけども、私の今回のやり方を見ていただいて、それで皆さん方に信を問うということになると思います。</p> <p>今回の経営改革、財政運営の変革を、私はじめ職員一丸となって今までと違う方法でやっていきたいというように考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
(市民②-3)	<p>現体制で違う方法があれば、すでにやってらっしゃるのではないのでしょうか。単年度決算ではいかがですか。決意の程はわかりますが、決意の程を市民に示して信を問うてください。</p>
(市民③)	<p>職員から駐車場代金を 500 円取っているとありました。今はどうなっていますか。</p> <p>自転車通勤者も通勤代をいただいていると聞いていますが。</p>
企画財政部長	<p>ただいまの職員の駐車料金につきましては、市の土地でございます。引き続き、月 500 円徴収しているところでございます。</p> <p>徴収は、自動車の職員のみでございます。</p>
(市民④)	<p>今日の会議は 7 時から何時までですか。</p> <p>それと議事録は取っておられますか。後ほど文書化されますか。</p> <p>今まで経営の努力をされてきたということですが、市議会は何をやってきたんですか。</p>
総務部長	<p>時間についてのご質問ですが、7 時開始ということでご案内してございます。終わりは何時とは決めておりません。</p> <p>次に会議録は、取っております。後日公表いたします。</p> <p>3 点目の議会についてですが、年 4 回の会議のなかで執行部の出した議案等を審議していただいておりますし、今後もその予定でございます。</p>
(市民⑤)	<p>市長はじめ職員一丸となって人件費の削減という話があります。必ずしも職員だけの削減だけでなく、市議会議員の人数も減らしていいのではないか。個人的には市議会議員の能力テストをやってもらいたい。これは個人の感想ですが、市議会の削減も考えていただきたい。</p>
(市民⑥-1)	<p>今できることは、自分たちの給料から半額になさったらどうですか。それと、若い職員の意見も聞き入れてもらいたい。</p> <p>経営改革会議ですが、成功されている企業の社長さんの意見を取り上げたらどうですか。</p> <p>もう一点、「破たん」によって市民に影響があるようじゃだめなんです。やるのであれば、職員の退職をして、有識者を採用したほうがいいのではないですか。</p>
総務部長	<p>職員の給料半額ということが正当か分かりませんが、検討材料にしな</p>

<p>(市民⑥-2)</p>	<p>ければいけないと考えております。 若い職員の意見を聞かないということですが、職員提案制度というものも行っております。 次に、経営会議のなかに経理の分かる方ということですが、公認会計士の方、経営感覚のある方もおりますのでご理解願います。 また、税金は上げる考えはございません。公共料金については適正かの判断をさせていただきます。受益者負担の原理から検討いたします。</p>
<p>(市民⑦-1)</p>	<p>富津市は水道料金高いです。 高齢化はどこの市町村も同じなので難しいのでしょうか、生活保護受給者の確認もしてもらいたい。 外国籍の生活保護の方はいますか。そういうところも目をつけていただきたい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>職員数と人件費について、千葉県内で同等の館山市に対して 26%多い。生涯収入は 99.7%、退職金は富津市の方が 363 万円も多い。単純に、26%職員数を減らせば、毎年 10 億 4 千万円、5 年で 52 億円も歳出が減るわけです。職員数の削減と明言されていましたが、5 年後に 4 億円しか減らない理由をお聞きしたい。 中期収支見込で 5 年で 28 億円赤字となるということで、投資的経費が増えている理由をお聞きしたい。 下水道を完備しているところから都市計画税を取らない理由をお願いします。</p>
<p>(市民⑦-2)</p>	<p>まず、職員数ですが、現在も職員数の減に取りかかっております。今後も定員適正化計画を立て、順次削減していきます。定年退職以外にも勧奨退職も並行して行い、5 年後に 90 名程度削減すると考えております。</p>
<p>総務部長</p>	<p>退職者と希望退職者だけですか。 なぜ、収支見込に表れないのですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>定年退職者と希望退職者です。 この収支見込を立てたのが 8 月でその後に新たな定員適正化計画を立て、90 名減としました。今年度の 40 名ほどの退職者と来年度の採用者までについては反映しております。その後については時間的な問題で反映しておりません。</p>
<p></p>	<p>収支見込の考え方をご説明させていただきます。 こちらの 27～31 年度の経費に示しております数値は、現行の計画に基づき算出してあります。その後の計画については順次着手しております。ご指摘のありました投資的経費につきましては、現行の計画ですと当該年度に事業が集中しております。国の交付金を原資とした道路整備をしている関係で、交付年度を考慮しますと現在の計画となりますが、</p>

	<p>今後、効果を見据えたなかで事業年度の延伸等を取り組みたいと考えております。</p> <p>下水道については、ご指摘のとおりでございます。</p>
(市民⑧-1)	<p>収入が減った理由と支出の使いみち、そして税収の確保策をどのように考えているか聞きたい。将来どのようにまちづくりをしていくか考えをお聞きしたい。</p>
企画財政部長	<p>富津火力発電所の設備投資に係る償却資産の目減りが毎年 2 億程度見込まれます。このような状況のため本年度については職員の地域手当を 4%カット、市長をはじめ特別職、議員の報酬も 4%カットとしております。</p> <p>今後の取り組みですが、経営改革の断行として、人件費に限らずサービス水準も身の丈にあったものに見直しが必要と考えております。</p>
(市民⑧-2)	<p>毎年 5 億円足りないということですので事業計画を早々に取り組んでもらいたい。</p>
(市民⑨-1)	<p>経営改革会議の有識者の方について、もう少し詳しく教えていただけますでしょうか。</p>
総務部長	<p>お名前申し上げたいところですが、まだ承諾書が届いておりません。内諾はいただいております。大学の先生が 2 名、公認会計士が 1 名、地元の会社の社長と県の OB の方です。</p>
(市民⑨-2)	<p>正式に任命する前に市民に説明いただけますか。</p>
総務部長	<p>承諾書が届き次第、公表いたします。</p>
(市民⑩)	<p>経営改革会議は、傍聴者 30 名とありますが、映像として誰でも見られる環境とする予定はありますか。これまでも市民参画はあるかと思いますが、市政に反映されているとは思えません。反映させる仕組みを作るよう努力していただきたいと思っております。</p>
総務部長	<p>映像ですが、ICT の時代に伴いましてストリーミング等による生中継が可能でございますが、実施に当たって審議会で決定することとなります。審議会の委員の承諾も必要となりますので、今後意見を踏まえ、調査研究していきたいと考えております。</p>
企画財政部長	<p>今後についても、パブリックコメント等を利用した市民の方のご意見を反映した計画策定としていきたいと考えております。</p>
(市民⑪)	<p>全てが納得、理解しにくい面もたくさんあります。新聞・テレビ報道不信感、不安感、怒りを覚えています。私は、この説明会を待ちきれず、</p>

今まで色々話を聞いて、このような結果になったことは当然であると思っています。第一次行財政改革大綱は、平成 11 年から 16 年に策定されたものです。当時は、白井貫市長でした。「市民の皆さん、ご不便をおかけするが我慢してくれ。この先 10 年、20 年財政状態を考えたときに、まず負債を減らすことだ。」と、百数十億の負債を減らしました。このやり方に「無策だ、何もできないじゃないか。」そういう批判が横行しました。

平成 16 年 10 月 6 日に現佐久間市長が、就任されました。これは、第二次行財政改革大綱の始まりです。第二次は 16 年から 21 年まで、第三次が 22 年から 24 年まで、第四次行財政改革大綱は、現在の 25 年から 27 年で過去の大綱の総仕上げ、抜本改革をするのだと、そして、改革の基本方針 3 本の柱を打ち出しました。この大綱は、富津市をどうするかの核です。

平成 11 年から 15 年間、着実にどう具体的な手法と手段で推進をしてきたか。こういうことを言うかどうかと思いますが、国会議員・県議員・市長・市議会の体制・賢政会の皆さん、これだけ背景と体制がしっかりしたなかで、佐久間市長は行政運営を司るうえに大船に乗って、堂々と決断・勇断・実行成果を挙げてきているものだと、私は、大きな期待で今日まで静かに見て参りました。

ところが、この結果に対して、本当に寂しく震えています。私は、何かやることが場当たり式と言うか。今日のこの資料のなかにもあります。税金が減る、色々生命・財産を守るためには防災センターが必要だ。大義名分はよく分かります。その前に着実に財源は、作り出し、生み出すものです。着実にどう進めてきたのかが、一番問題なんです。

先ほども 80 億の本庁が出ました。ハコモノが立派でも中身が立派でなければどうしようもありません。富津中のドームが 22 億、この財政状態で考えたときに優先順位として富津中だけドーム化することが果たしてどうか。では、他の 11 校の耐震化工事の工事費総額は 19 億ちょっとです。大堀の古墳館を 2,600 万で建てました。優先順位としてあのタイミングは立派ですか。だとしたら、今使われていない行政センターの解体費に充当して、一路としてはどうですか。今、土地の賃貸料が全体でどのくらいあるか、私は尋ねました。「ちょっと答えられません。3,000 万から約 4,000 万です。」普通財産・行政財産を管理して預かっている人間が、そんな数字も掴んでいないのか。これだけ財政難で破たんの危機と報道されているのだから「市長・副市長に庁議のときに申し入れろ。この賃貸料を 2 割・3 割軽減をしてほしい。今富津市は苦しいんだ。」と申し入れろと提言しました。トップが、先頭に立って頑張っしてほしい、それが市民に伝わるのではないのでしょうか。

私は、全て今の考え方は無しのものとして、革命的発想のなかで、企画・立案し、勇断・実行、成果を挙げるという決意が必要だと申し上げます。

(市民⑫-1)

富津市には、国会議員、県議員、市長がいるなかで、なぜ破たんの報道がされてしまったのですか。何か裏があるのではないかと感じま

<p>企画財政部長</p>	<p>す。 富津市は、なぜ副市長が必要なのでしょうか。</p>
<p>(市民⑫-2)</p>	<p>市民の皆さまに対し、説明責任を果たさなければなりません。今後の取り組みをお知らせすることが重要であると判断し、公表しました。</p> <p>市民に説明してから報道されるのが、順番ではないですか。</p>
<p>副市長</p>	<p>定例議会の前に行っている通常の記者会見で、特別な枠をもって財政状況が大変厳しいと話をしたのは事実であります。将来的に危険な水域とは何かという話がありましたので、全国的には、夕張市が唯一陥っているレベルであると説明したのは事実であります。そうしましたところ、考えている以上に大きく報道されてしまいましたことは、説明が足りなかったと反省しておるところです。現実としては、このままいけば厳しい状況であることは事実です。そうならないために、しっかり改革を進めていくと説明したつもりです。</p> <p>皆さんへの説明が遅くなったことは、お叱りのとおりであります。この場をお借りしてお詫び申し上げます。</p>
<p>(市民⑬)</p>	<p>経営改革会議は、どのような位置付けですか。期間は、いつまでまとめられますか。まとまったものは、どのように取り上げられていきますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>位置付けは、市長の諮問機関です。中・長期で考えていくものを示し、提言していただくよう考えております。個々の指摘につきましては、一次答申、二次答申というように考えております。期間は、委員は2年委嘱いたします。迅速に対応すべきものは対応しますが、5年先を見据えて考えておりますが、即座に取りかかり、順次公表して参ります。</p>
<p>(市民⑭-1)</p>	<p>夕張市を例に出したことは、何か裏があるのではないですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>公表するなかで、財政再生団体という言葉では、実態が分からないのではと例示いたしました。</p>
<p>(市民⑭-2)</p>	<p>夕張市の人口は、どのくらいですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>本年度7月現在 9,600 人です。</p>
<p>(市民⑭-3)</p>	<p>夕張市の税収はどのくらいですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>本年度当初予算額は、115 億 8,600 万円です。</p>
<p>(市民⑮-1)</p>	<p>大学教授より、市民の声を聞く方がよい案が出るのではないですか。富津市の人口は、なぜ減っているのですか。検討はされていますか。</p>

<p>市長</p>	<p>就労場所が少なく、通勤するにも交通の便が悪いということがあると思います。企業誘致を引き続き進め、就労場所を増やしていきたいと考えております。</p> <p>通勤の便が悪いということに関しましては、君津以南の JR 複線化は、厳しい状況のため、ほかの交通機関例えば高速バスを考えております。</p> <p>人口の減少については、安心して子育てができるまちづくりを進めているところでございます。</p>
<p>(市民⑮-2)</p>	<p>どのような富津市にしたいか、理想・夢を語ってください。</p>
<p>市長</p>	<p>安心して子育てができるまちづくり、安全・安心なまちづくりを進めていき、富津市にある観光名所を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えております。</p>
<p>(市民⑯)</p>	<p>経営改革の内容を、詳しく説明してください。</p> <p>富津市は、通過地点と見られがちだと思います。富津市から通勤した場合、本数が少ない、遅い時間まで動いていないから不便というだけで、時間がかかるから不便ということではないと思います。青堀駅くらいまで複線化、高速バスストップの整備をすれば、人が増えるのではないのでしょうか。若い世代は出て行くだけだと思います。改革は考えていますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議では、短期で対応するもの、歳入確保策として、市税滞納に対しての強化を考えております。ふるさと納税制度の活用も考えていかなければなりません。基金等の整備も必要です。財産収入の確保も必要です。</p> <p>歳出に関しましては、人件費の削減、職員数の適正化の検討、市で委託していたもののうち職員ができるものを見直して参ります。</p> <p>中・長期のものは、定員適正化計画、公共施設の再配置、使用料・手数料の適正化の検討を考えております。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>複線化の取り組みについては、JR さんは、民営化ということで採算性を重視しております。駅を利用する乗降客が厳しい状況のため、はかどっていません。補完するということで、高速バスについては、運行数の増便に取り組んでおります。</p> <p>人口の流出の歯止め、新たな住民を向かい入れるため、企業誘致、公共交通機関の整備をはじめ、まちづくりを進めておりますが、有効策が見出せていない状況です。金銭面だけではなく、今ある人・物・資源を活かしたまちづくりに取り組んで参ります。</p>
<p>(市民⑰-1)</p>	<p>水道料、健康保険料が高い、夜は街灯がなく外を歩けないという状態です。定住人口が増えるわけがない。</p> <p>発表したのであれば、次の政策まで発表するべきではないですか。市</p>

市長	<p>民の声を聞き、意見を把握した後に記者会見ではないですか。手法が逆ではないですか。</p> <p>定例記者会見での表現でこのような状態になり、大変申し訳ありませんでした。また、皆さん方にお知らせした後に、記者会見という手順を踏むべきだったと考えます。発表したものがこちらの意図意外に進んでいると感じているところです。皆さま方にご心配ご迷惑をかけましたことは、大変申し訳なく遺憾に思っています。</p>
(市民⑰-2)	<p>記者会見から今日の説明会までタイムラグがあります。皆さんがこんなに心配して、意見を持っています。これは大問題です。</p>
(市民⑱)	<p>今回の報道に当たり、千葉県放射性廃棄物最終処分場に関することは、知っていますか。話が合った場合、断りますか。</p>
副市長	<p>富津市は、なぜ区長報酬が高いのですか。</p>
副市長	<p>指定廃棄物について佐久間市長は、全て平等に負担すべきという考えを基に、一貫して富津市は受け入れられないと発言していますので、今回の報道とは一切関係ございません。</p>
(市民⑲)	<p>区長手当については、今後協議をしていきたいと考えています。今回の改革では、例外なく検討して参ります。</p>
(市民⑲)	<p>固定資産税が下がることを勘案して対策をしていなかったことは、市議会は考え方が甘かったのではないですか。</p>
総務部長	<p>経営改革会議の委員は、他市の建て直しに実績のある方をお願いしてはどうですか。</p>
総務部長	<p>市税の滞納者は、滞納額の年額はどのくらいですか。</p>
企画財政部長	<p>お願いしている委員は、他市での経験がございます。</p>
企画財政部長	<p>固定資産税については、ご指摘のとおりです。</p>
(市民⑳)	<p>市税の滞納状況は、昨年度決算で 8 億 1,000 万ほどです。</p>
総務部長	<p>意見は出し尽くせないと思いますが、議事録の署名人を決めてお開きとしてはどうですか。</p>
総務部長	<p>ご提言をいただいたので、よろしければ閉めさせていただきたいが、よろしいでしょうか。</p>
(市民㉑-1)	<p>このようになった経緯を数字にまとめて公表していただきたい。責任者を発表する気持ちはありますか。</p>
市長	<p>公表していきたいと思います。</p>

<p>(市民㉑-2)</p>	<p>市民に民意を問うということはしますか。</p>
<p>市長</p>	<p>市から出したものを皆さん方の意見を伺うよう準備しています。</p>
<p>(市民㉑-3)</p>	<p>諮問委員会で答申された内容を、吟味して、現執行部が新たな計画を立て、それを市民に示すということですか。市民が受け入れなかったらどうしますか。</p>
<p>市長</p>	<p>短期・中期・長期について答えを出し、市民の皆さんにご意見を伺うようにします。これは、私の任期中に行う話だと思います。</p>
<p>(市民㉑-4)</p>	<p>人件費削減について、業務委託をし、スリム化を図るという説明がありました。現在委託している業務を、市職員で賄った方が効率的ではないですか。</p>
<p>市長</p>	<p>事業の内容により、職員でやれるもの、委託せざるを得ないものがありますので、このようなことを含めた改革を進めて参ります。</p>
<p>総務課長</p>	<p>長時間にわたりましたので、ここで説明会は閉じさせていただきます。最後に副市長より閉会に当たりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>皆さまには、お仕事の終わり足元の悪いなか、大変貴重な時間をいただきまして、このような説明会を開かせていただきました。誠にありがとうございました。皆さまから改めて貴重な意見を頂戴するなかで、皆さまに大変不安感を与えてしまっているということを強く感じさせていただきました。私どもは、これからこの不安感をしっかり払拭できるように、この改革を、佐久間市長を先頭に職員一丸となって取り組んで参りたいと考えておりますので、皆さま方には、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。本日は、どうもありがとうございました。</p>
<p>総務課長</p>	<p>以上で説明会を閉じさせていただきます。</p>

以上